

暮らし

子ども・親の悩み相談

光が丘子ども家庭支援センターでは、子どもの悩みや親の悩みについて相談を実施しています。相談料は無料で、秘密は厳守します。

相談員や心理職員によるカウンセリングや心理・知能検査も行っています。お気軽にご相談ください。

■時間 24時間対応します（夜間は電話対応のみ）

■内容

・子どもの悩み（友達と仲良くできない、いじめられている、学校に行きたくないなど）

・親の悩み（子育ての不安・心配、子どもにあたってしまつ、子どもの発達、子どもの反抗、非行など）

■問合せ 光が丘子ども家庭支援センター（岩見沢市春日町2丁目3番7号）
☎0126・22・4486

秋の全国交通安全運動

秋の全国交通安全運動が実施されます。

この時期は、行楽シーズンに伴う長距離運転による事故や、夕暮れの早

りによる夕方の事故に注意が必要です。交通事故は、決して他人事ではありません。加害者にも被害者にもなることのないよう日頃から気をつけましょう。

■期間 9月21日(木)～9月30日(土)

■運動の重点

- ・子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- ・夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- ・全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ・飲酒運転の根絶

■問合せ

住民課住民活動グループ
☎76・2130



庁舎建設通信 (No.11)

～平成33年春の完成に向けて～

施設管理専門部会では、新庁舎の安全性、経済性、快適性、環境への配慮などについて検討しています。具体的には、地震への対策としてどのような耐震構造を採用すべきか、ランニングコストを抑えるための仕上材や冷暖房設備のあり方、地中熱などの再生可能エネルギー設備の導入など、建物としての機能について検討しています。また、新設する車庫・倉庫の配置や道路からのアプローチなどの外構についても、人や車両の動線、冬期間の雪の対策などを考慮して、どうすべきか議論しています。

消防支署専門部会では、新庁舎に併設される消防支署について検討しています。消防車両を格納する車庫は現状よりも大きくしなければならないほか、ホース乾燥塔や仮眠室など現庁舎で不足する機能を充実させるため、消防支署の面積は現状の約400㎡から、最大800㎡程度と大きくなる見込みです。

今月まで3回にわたり4つの専門部会の検討内容について説明しましたが、ここでの検討経過は、設計業者と情報共有して基本設計に反映されていきます。なお、基本設計が完成する前に、皆さんに説明する機会を設けたいと考えています。

新庁舎の機能を検討する専門部会のことをお話するんだマイ。今日は施設管理専門部会・消防支署専門部会についてなんだマイ。



新庁舎の建設についてのお問い合わせやご意見はこちらまでお寄せください。

■担当：庁舎建設推進事務局 ☎76-2131

E-mail chosha@town.shintotsukawa.lg.jp